

中日ニュース

シネスコ版

高野 No. 141

本編同

No. 306

34.11.27

道新 No. 1416

日高線始終未記 - 静内 -

イフ吹 (本編)

火薬工場の大爆発

イフ吹

横浜

十一月二十日、午前十時半頃、横浜市にある火薬工場東洋化工が大爆発。工場十数むねは跡かたもなく吹き飛ばされました。避難の処置が早かったため、死者は三人だけでしたが、爆風やガラスの破片による重軽傷者は三百八十人にも及びました。恐ろしさに口もきけない負傷者が病院のベッドを埋めています。原因は工場側の不注意とみられ、火薬も許可以上にあつたと言われています。この爆発は、山を越えた民家や、学校にも被害を与え、火薬工場の保安距離の決め方が問題となつていま

嫌われた三池労組

東京・福岡

去る十一月十九日から二日間、総評は臨時大会を開き、炭労支援へ全組織を挙げることを決めました。

折から中労委では、三井鉱山の労使双方を招いて斡旋にのり出しましたが、会社側は、数の問題ではなく、三百人に及ぶ生産阻害者への追放であることを強調しました。

毎日のように、繰込場では、仕事の割振りをめぐって職制と激しいやりとりが見られますが、組合側では職場の民主化といい、会社側は生産の阻害と呼んで対立の原因を作つてきました。

それをリードする組合幹部が、実は、生産阻害者といわれる人々だったので。口論を二分する安保改定の折から、この争議は、三井労使の問題だけではすまされないものがあるようです。

日本の群像

鴉匠

シヨウウ 10吹

岐阜の名物、鴉飼いのシーズンも終り、待望のトレーニングの季節を迎えました。

とつた魚は、もう吐き出すこともなく文字通りうのみ、来年へのエネルギーをたくわえるのです。

鴉飼いの歴史は、遠く一千年も昔にさかのぼりますが、鴉と共に生きてきた鴉匠の苦勞はなみなみならぬものがあるようです。

今日も早朝から川面に連れ出し舟べりを叩いて調教、まるで名人芸を見るようですが、その生活は、決して恵まれているとはいえず。県下僅かに六人という淋しさ、それでも鴉と語り合つて楽しい毎日のようです。

66吹

264吹

210吹

143吹